

栃木労働局・建設業労働災害防止協会栃木支部

連絡会議が開催されました

本連絡会議は、国が策定した「第12次労働災害防止計画」により、計画の目標、重点施策及び具体的取組等定め、労働行政と建設業団体とが密接な連携を図り、建設業界の死亡労働災害の撲滅及び労働災害の大幅な減少目的とした会議です。



会議の様子

(平成26年7月7日宇都宮グランドホテル)

冒頭、建設業労働災害防止協会栃木支部長の渡邊勇雄様及び小野里労働基準部長の両名より、開会に当たってのあいさつがありました。

次に、西本監督課長より「建設現場における監督指導・送検事例等について」として、最近の県内の建設現場における労働安全衛生法等の違反状況及び、労働災害に端を発した労働安全衛生法等の違反による送検事例を具体的な事例を基に説明が行われました。

次に吉田健康安全課長より、今般改正となった労働安全衛生法についての趣旨・要点の説明及び本年の労働災害発生状況並びに災害事例の説明が行われました。

また、建設業労働災害防止協会栃木県支部からは、平成25年度の労働安全衛生に関わるパトロール・研修会等の事業実績が説明されました。

最後に、今後の労働災害防止活動について両者の活発な意見交換が行われ閉会となりました。



会議の冒頭、あいさつをする渡邊支部長（写真左）及び小野里部長（写真右）